

お知らせ（令和元年 7月9日）  
阪神国際港湾株式会社

## 阪神港における諸課題への今後の対応について

阪神港における諸課題として、2025年大阪・関西万博及び高潮対策について、今後の対応の方向性をお示しするため、資料を作成いたしましたので掲載致します。

本件に関するお問い合わせについては、下記連絡先へお願い致します。

（連絡先）  
企画部企画課 TEL：078-855-2894  
企画部計画課 TEL：078-855-2893

# 阪神港における諸課題への 今後の対応について

---

1. 2025年大阪・関西万博への対応
2. 阪神港における今後の高潮対策について

2019年7月9日

阪神国際港湾株式会社

# 目 次

1. 2025年大阪・関西万博への対応	
2025年日本万国博覧会について	1
万博来場者の交通アクセス	2
万博会場への交通アクセス整備	3
2. 阪神港における今後の高潮対策について	
台風21号による浸水状況（神戸港）	4
台風21号による浸水状況（大阪港）	5
高潮対策検討委員会（神戸港）	6
高潮対策検討委員会（大阪港）	7
神戸市における今後の取組み	8
大阪市における今後の取組み	10

# 1. 2025年大阪・関西万博への対応

## 2025日本万国博覧会について

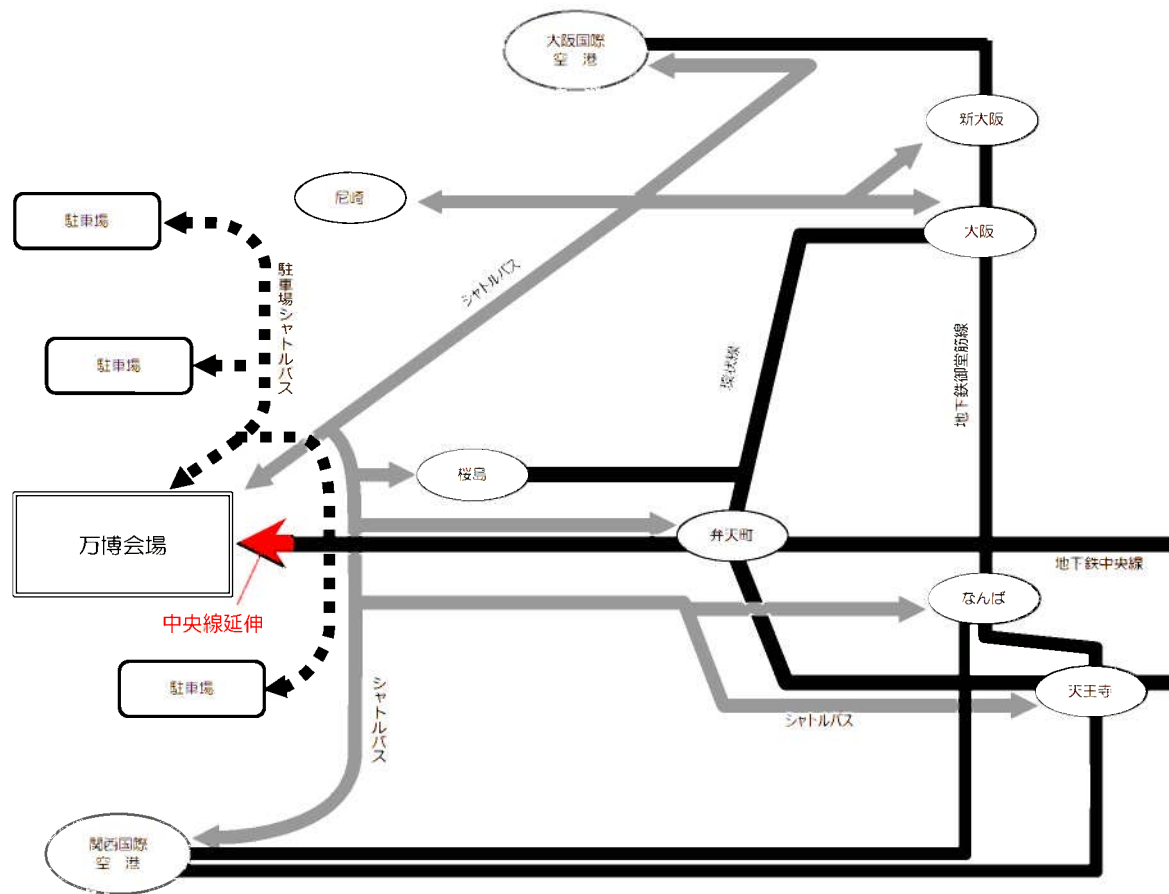
フランス共和国（パリ市）で開催されたBIE総会（2018年11月23日）において、2025年国際博覧会の開催国決定に係る投票が行われ、その結果、日本（大阪）に決定



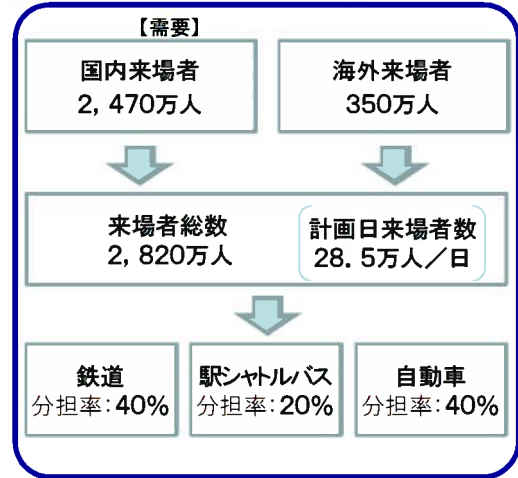
- テーマ 「いのち輝く未来社会のデザイン」  
(Designing Future Society for Our Lives)
- サブテーマ
  - ・多様で心身ともに健康な生き方
  - ・持続可能な社会・経済システム
- 開催期間: 2025年5月3日(土)~11月3日(月) 185日間
- 想定来場者数: 約2,800万人
- 経済波及効果(試算値): 約2兆円
- 2019年1月30日 「一般社団法人 2025年日本国際博覧会協会」設立

# 1. 2025年大阪・関西万博への対応

## 万博来場者の交通アクセス



### 万博来場者の交通アクセス



- ○ : シャトルバス発着主要駅(想定)
- ← : 鉄道等シャトルバス
- ← : 駐車場シャトルバス
- ← : 鉄道アクセス

出典: ビッド・ドシエ(立候補申請文書) <2017.9 経済産業省> より作成

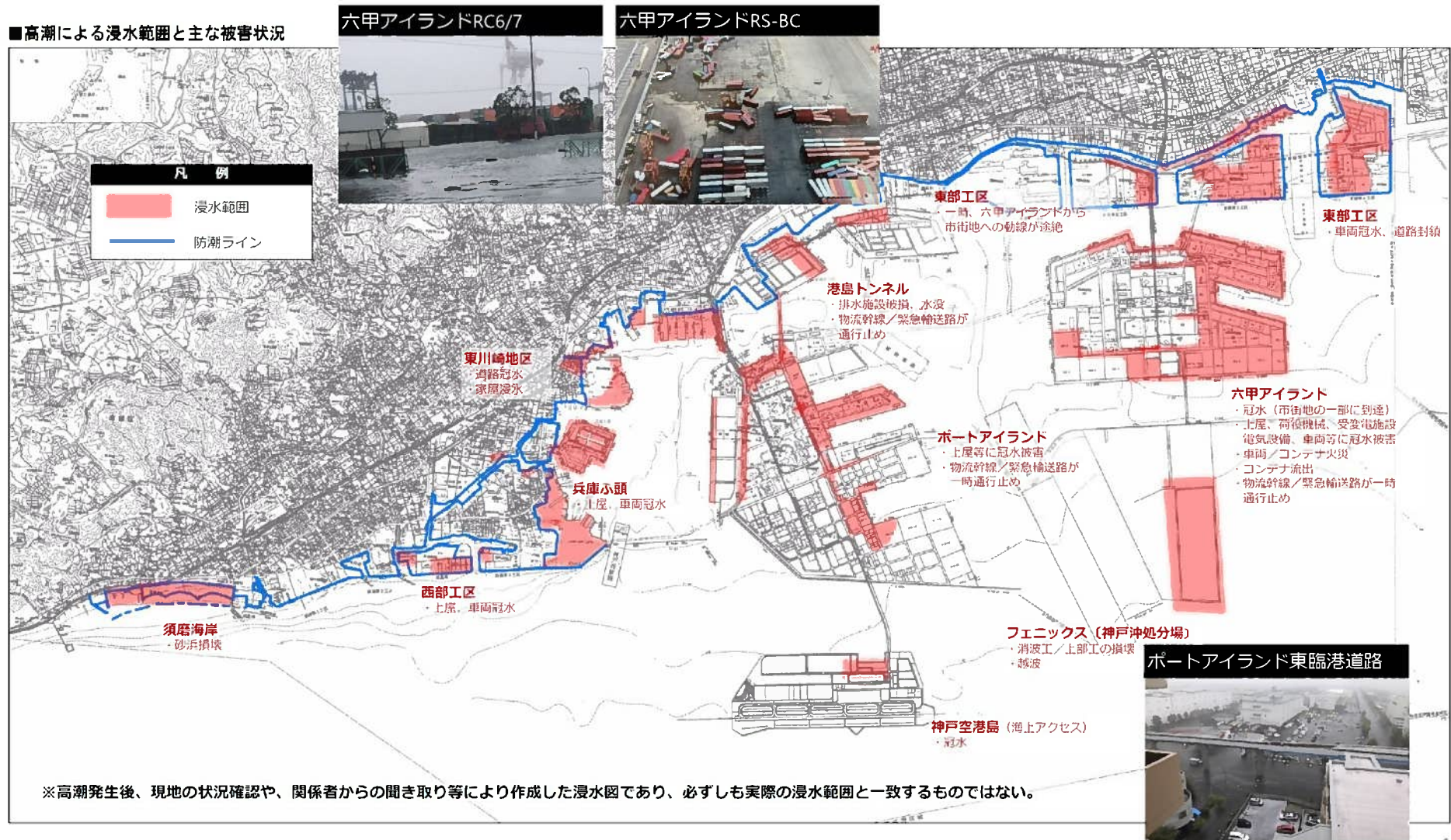
# 1. 2025年大阪・関西万博への対応

## 万博会場への交通アクセス整備

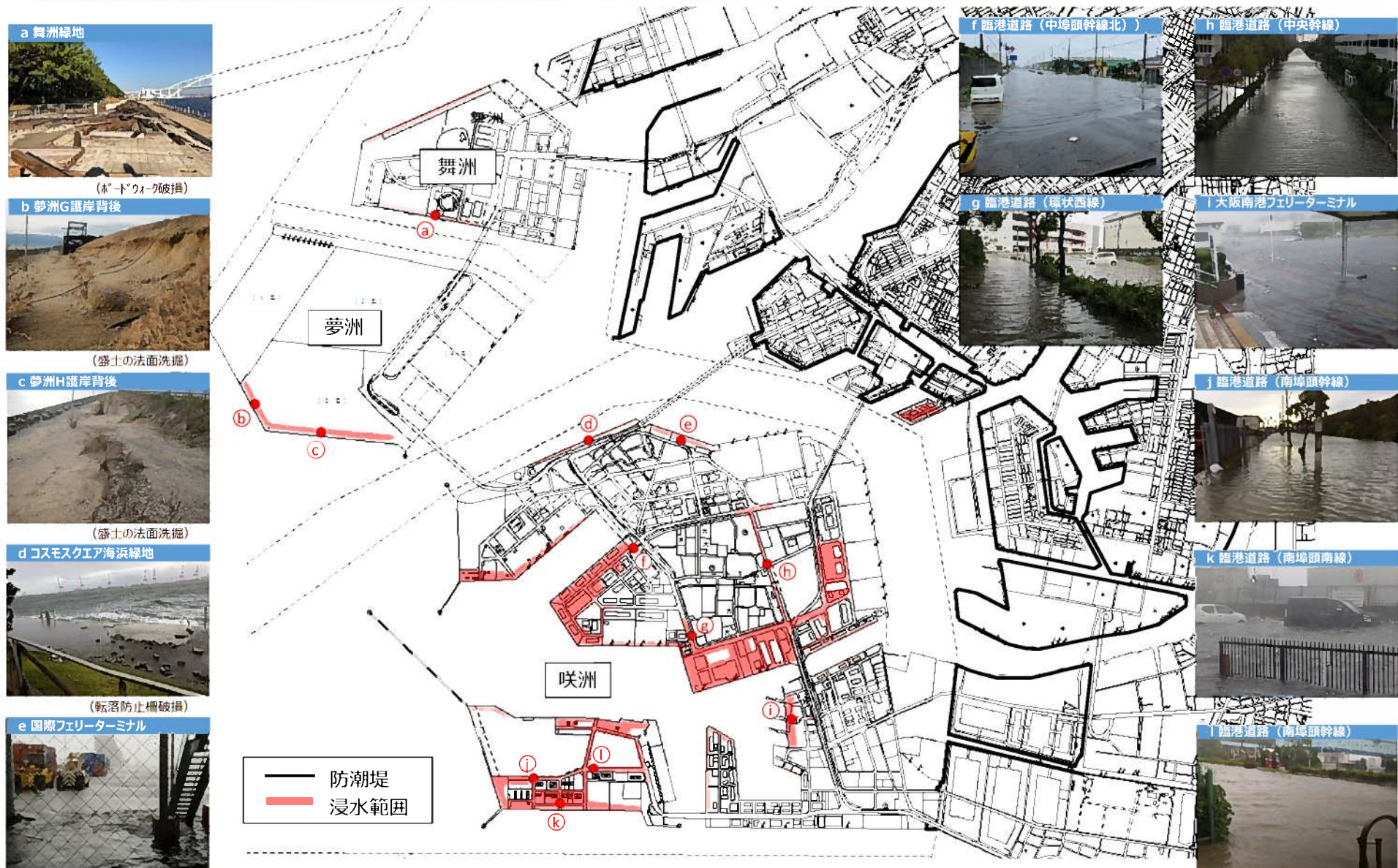


## 2. 阪神港における今後の高潮対策について

### 台風第21号による浸水状況（神戸港）



# 台風第21号による浸水状況（大阪港）



※浸水範囲は台風通過後の現地写真や関係者への聞き取り結果をもとに港湾局で想定したもの



# 高潮対策検討委員会 ～神戸港部会

## ○背景と部会の設置目的

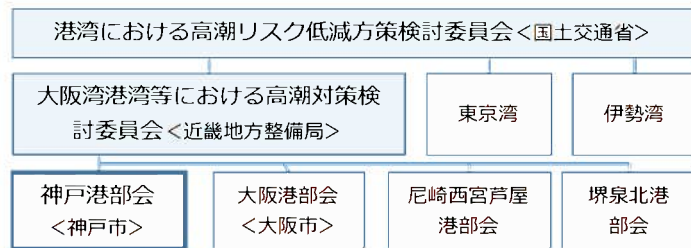
神戸港では、台風第20号及び台風第21号により、外郭・港湾施設等の破損に加え、大規模な浸水が発生

港湾機能用地を中心に、都市機能用地まで被害が及んだ台風第21号について高潮・高波の発生メカニズム・被害発生原因の調査検証を行う

## ○開催経緯

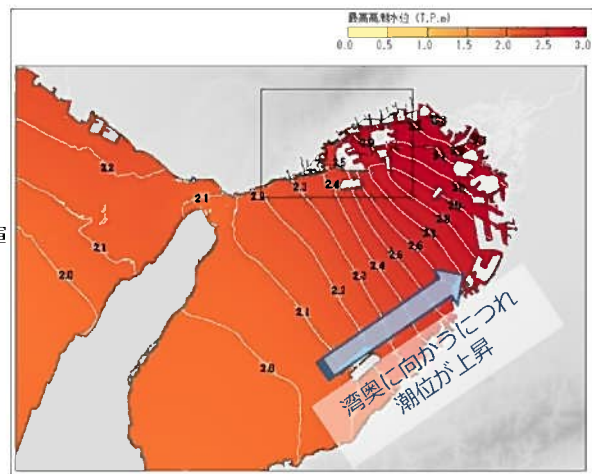
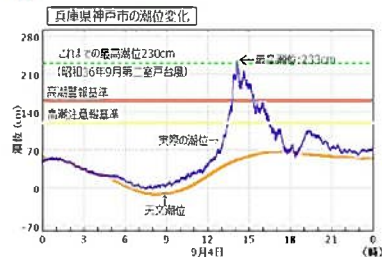
第1回	9月27日	被災状況、検討方針の確認
第2回	12月4日	再現シミュレーション(案)
第3回	3月14日	対応方針の策定

## ○検討体制



## ○全体的な傾向

- 東に行くにつれ潮位が高くなる傾向
  - ✓ 神戸港東部で大きな被害
  - ✓ 過去最高を記録した潮位により海水が護岸等を超えて流れ込んだことが主な要因
- 既存市街地を守る防潮堤が効果を発揮



## ○対策の基本方針

- 住宅等が立地する人工島《ポートアイランド・六甲アイランド》
  - ・ 海水の進入経路において、最も効果的となる水際で、海上物流に支障を来さないような対策が必要
  - ⇒ 海水の浸水経路の遮断(ヤード嵩上げ・擁壁の組み合わせ等)・臨海部での退避施設の検討・電源施設の止水機能強化
- 津波対策を計画している区域《東部工区(未改良区間)》
  - ・ 現在実施中の津波対策が高潮に対しても一定の効果を発揮
  - ⇒ 防潮堤の補強・嵩上げを早期に実施(津波対策の継続)・内水対策としてのポンプ施設機能強化(東部工区、東川崎地区)
- 臨海部全般《兵庫ふ頭等》
  - ⇒ 建物止水板、退避経路、避難施設、情報伝達等ソフト対策を中心に実施
- 防災情報・水防体制等の検討(ソフト対策)
  - ⇒ 「防災情報の発信強化」「事前防災体制の強化」を実施
- 既存海岸保全施設
  - ⇒ 適切な維持管理を徹底(点検及び補修の実施)

# 高潮対策検討委員会 ～大阪港部会

## 1 背景

平成30年9月4日の台風第21号により、大阪湾内の港湾や沿岸部において、港湾施設等に大きな被害が発生したことから、台風第21号と同程度の台風を念頭に、人命の確保及び施設の被害軽減、物流・生産機能の維持に関する方策を検討するため、近畿地方整備局が中心となり、学識経験者や専門機関などからなる「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」が設置された。

大阪港においても、台風第21号により過去最高の潮位を記録し、防潮堤より陸側では高潮による浸水被害がなかったものの、咲洲や夢洲など埋立地において、地盤の低いエリアを中心に、高潮や高波等による施設の損壊や事業所の浸水被害が発生したことから、対策を検討するため、委員会の下に、「大阪港部会」を設置した。

## 2 実施方針

大阪港では、「大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会」における検討結果を踏まえつつ、咲洲や夢洲など埋立地の護岸背後の地盤の低いエリアにおける施設被害や浸水被害について、被害原因を検証し、被害箇所の対策検討を行う。

## 3 開催経緯

第1回（平成30年11月21日）

- ・平成30年台風第21号の気象・海象の状況
- ・平成30年台風第21号による大阪港の被害状況
- ・大阪港部会における今後の検討の進め方（検討項目・スケジュール）

第2回（平成30年12月27日）

- ・平成30年台風第21号の波浪・浸水再現シミュレーションの実施
- ・被害原因の検証

第3回（平成31年3月25日）

- ・コンテナ流出対策の検討
- ・平成30年台風第21号を踏まえた対策検討
- ・大阪港部会とりまとめ

《大阪港部会の位置づけ》



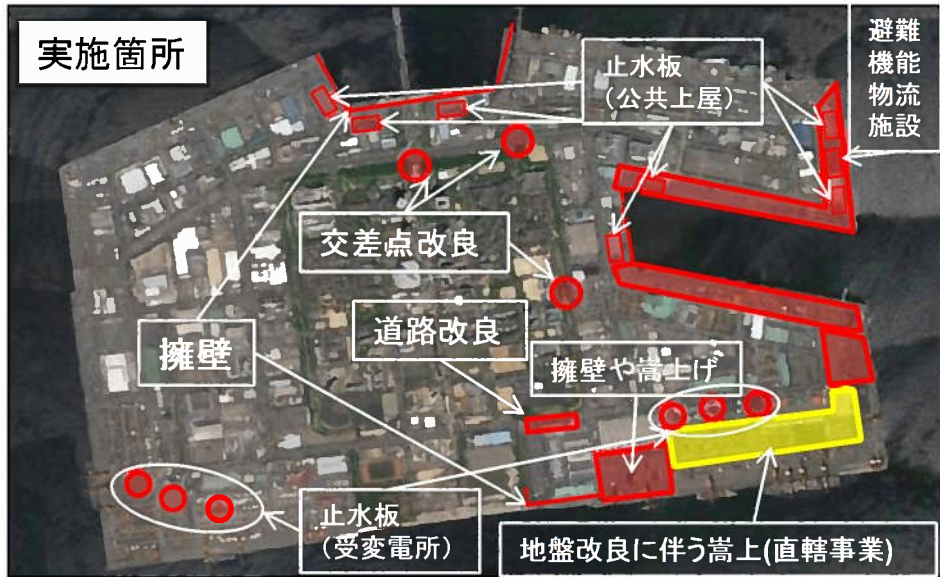
《大阪港部会の委員構成》

区分	氏名	所属
委員長	青木 伸一	大阪大学大学院 工学研究科 教授
委員	畝田 栄作	気象庁 大阪管区气象台 気象防災部 気象防災情報調整官
	國田 淳	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部長
	河合 弘泰	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域長
	平井 洋次	国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 港湾空港企画官
オブザーバー		阪神国際港湾株式会社
		大阪港埠頭株式会社

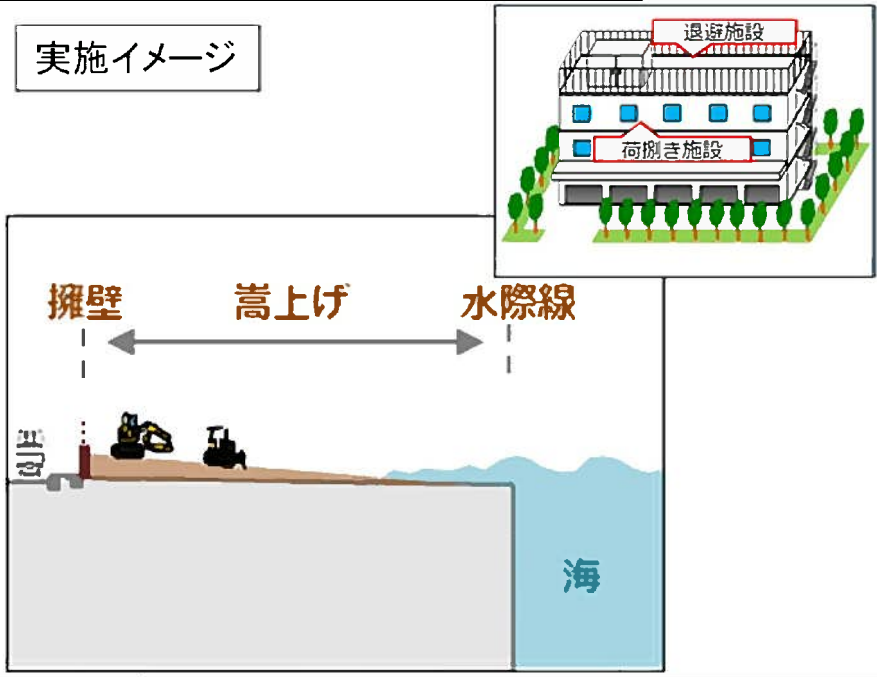
# 神戸市における今後の取り組み（六甲アイランド）

出典：高潮対策推進委員会  
(2019.6.20)  
神戸市提供資料より作成

- ◆ 高潮による越流によって甚大な浸水被害が発生した六甲アイランドでは、潮位上昇が著しい東側を中心に、港湾機能および都市機能の防護に最も効果的な水際線における地盤嵩上げ、擁壁整備や避難機能を備えた物流施設の整備を行う。



実施イメージ



実施スケジュール

工事名(工事箇所)	令和元年度				令和2年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
嵩上げ・擁壁設置・避難機能物流施設	事業者調整 等				工事			
道路交差点改良など	工事							
受変電所止水板設置	工事							
公共上屋止水板設置	工事							

令和元年の台風時期は、対策工事の進捗に合わせ、必要な箇所に大型土のう配置が予定されている。

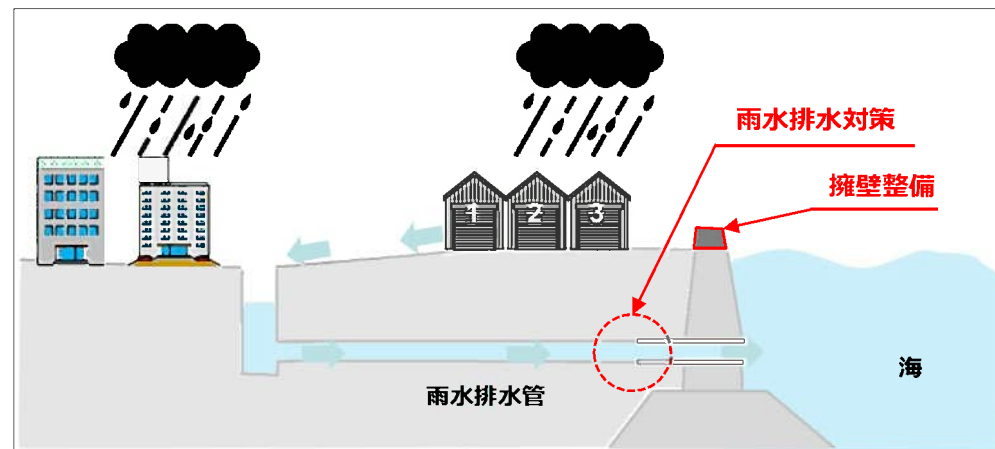
# 神戸市における今後の取り組み（ポートアイランド）

出典：高潮対策推進委員会  
(2019.6.20)  
神戸市提供資料より作成

- ◆ 高潮による越流によって甚大な浸水被害が発生したポートアイランドでは、港湾機能・緊急輸送路および都市機能を防護するために、擁壁設置や雨水排水対策を行う。



実施イメージ



実施スケジュール

工事名	令和元年度				令和2年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
雨水排水対策	調査・設計・測量				製作・工事			
擁壁設置(先行整備)	工事							
擁壁設置	調査・設計・測量				製作・工事			
受変電所止水板整備	工事				令和元年の台風時期は、対策工事の進捗に合わせ、必要な箇所に大型土のう配置が予定されている。			

# 大阪市における今後の取り組み

## ■ 災害復旧事業

《令和元年度予算》  
事業費：982百万円

	主な施設	管理施設総数	被害施設数	30年度 復旧完了施設数	31年度 (令和元年度) 復旧工事実施施設数
(1) 岸壁、防波堤、護岸等の復旧	岸壁・物揚場 (保安フェンス) 防波堤・護岸	127施設 24箇所 28施設	9施設 15箇所 4施設	6施設 3箇所 1施設	3施設 12箇所 3施設 他
(2) 臨港緑地の復旧	臨港緑地	30緑地	9緑地 ※施設被害ありの 緑地	1緑地	8緑地
(3) 臨港道路、橋梁の復旧	臨港道路 橋梁	約130km 20橋	臨港道路一円 9橋	— —	臨港道路一円 9橋
(4) 荷役機械の復旧	ガントリークレーン	2基	2基	2基	—
(5) 上屋・附設事務所、 荷捌地の復旧	上屋	81棟	66棟	66棟 ※うち9棟は 応急補修	9棟
(6) 倒木及び危険樹の撤去運搬処分	臨港緑地内樹木・街路樹	—	倒木約1,900本	倒木撤去	倒木処分、補植
(7) 港湾福利厚生施設の復旧	港湾福利厚生施設	14施設	4施設	4施設	—
(8) 庁舎、集客施設等所管施設の 復旧	庁舎 集客施設	4施設 11施設	3施設 4施設	3施設 4施設	現場事務所(作業場) の電気設備補修 他

# 大阪市における今後の取り組み

## (1) 防護対象等

- ・埠頭用地背後等で大きな被害を受けた民間倉庫等が立地するエリアと幹線道路の浸水を防護
- ・国際観光拠点の形成を目指す夢洲の南西側護岸背後の盛土のり面の補強
- ・港湾荷役に支障とならないよう施設天端高を低く設定した埠頭用地や、市民が海に親しむ目的で水際線に配置した親水緑地は防護対象から除く（親水緑地のブロック舗装の一部をコンクリート化するなど、できる限り構造を強化して復旧）

## (2) 防護水準

大阪港での既往最高潮位を観測した台風第21号と同様の高潮・高波が発生しても浸水しないよう、対策を検討する。

